

消防だより

令和3年(2021年)
10月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 20件
救急 : 1020件
救助 : 6件

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

窒息事故に注意しましょう

食べ物や異物をのどに詰まらせる窒息事故は子どもと高齢者の方で約8割を占めており、重症度が高い事故のひとつです。

予防するためには「食べやすい大きさにし、よく噛んで食べること」また「本人だけでなく、周囲の人たちも注意すること」で未然に防ぐことができます。

万が一に備え、応急手当ての方法を理解しておきましょう。

窒息時の対処法

傷病者に反応(意識)がある場合に行う対処法です。

●**腹部突き上げ法**／傷病者の背中側から腕を回し、抱えるようにし、片手で握りこぶしを作り、親指側を傷病者のへそよりも上でもみぞおちの下方に当てる。そのこぶしを

一方の手で握り、素早く手前上方側へ圧迫するように突き上げる。



※妊婦や乳児に実施してはいけません。次の「背部叩打法」を行ってください。

●背部叩打法

手のひらのつけねで、肩甲骨の間を強く連続して叩く。



ぐったりして反応(意識)がなくなれば、直ちに心肺蘇生法を実施してください。

※スマートフォン向けアプリ「ありだがわ防災・行政ナビ」にも、応急手当ての方法を詳しく掲載しています。

暖房器具による火災にご注意

暖房器具による火災の多くは、使用者の「誤使用・不注意」が原因です。暖房器具を使用する場合は次の内容を守り、火災予防に努めましょう。

- ・ストーブや電気こたつをつけっぱなしにせず、就寝時や外出時には必ず消す。
- ・暖房器具の電気コードの折れ曲がりやねじれに注意する。
- ・コンセントや配線周りを定期的に清掃する。

※冬季は、空気の乾燥により、小さな火でも、すぐに大きな火災へとつながります。こうした出火事故を起さないよう、使用方法の確認や使わないときに電源を切るなどを心掛けましょう。

消防団出初式のご案内

有田川町消防団出初式を次の日程で行います。

●**日時**／令和4年(2022年)1月9日(日)9時

●**場所**／明恵の里スポーツ公園

※雨天時は金屋農村センターで実施予定。

病院がわからないときは

●**診察可能な病院が分からないとき**

・和歌山県救急医療情報センター
☎073・426・1199

●**夜間や休日に子どもが急病になったとき**

・和歌山県子ども救急相談ダイヤル
すぐに病院に行った方がいいのか、様子をみて大丈夫なのか、看護師(必要に応じて医師)が対応してくれます。

・プッシュ回線・携帯電話
☎#8000

・ダイヤル回線・IP電話
☎073・431・8000

・平日/19時～翌朝9時まで
・土日祝日/9時～翌朝9時まで

※土日祝日で比較的軽微な症状の方は「有田地方休日急患診療所」を利用しましょう。

※緊急時や相談の結果、緊急性がある

と判断した場合は、迷わず救急車を呼んでください。

